

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2018-3346

(P2018-3346A)

(43) 公開日 平成30年1月11日(2018.1.11)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)
 E 0 2 D 27/34 (2006.01) E 0 2 D 27/34 2 D 0 4 6

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 19 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2016-128726 (P2016-128726)</p> <p>(22) 出願日 平成28年6月29日 (2016. 6. 29)</p> <p>(11) 特許番号 特許第6085712号 (P6085712)</p> <p>(45) 特許公報発行日 平成29年2月22日 (2017. 2. 22)</p> <p>特許法第30条第2項適用申請有り 平成28年3月28日に「地盤判定基準&プログラム説明会」にて発表。</p>	<p>(71) 出願人 597006997 アキュテック株式会社 石川県金沢市玉銚4丁目7番地</p> <p>(71) 出願人 516195579 株式会社アースリレーションズ 東京都台東区寿3-15-15水新ビル5F</p> <p>(71) 出願人 597130498 株式会社トラバース 千葉県市川市末広2-4-10</p> <p>(71) 出願人 596091428 報国エンジニアリング株式会社 大阪府豊中市大黒町3丁目5番26号</p> <p>(74) 代理人 100082418 弁理士 山口 朔生</p>
---	--

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 小規模建築物の地盤判定方法、地盤判定システム、および地盤判定プログラム。

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 小規模建築物の地盤にかかる特性を踏まえた信頼性の高い判定結果を得ることができる、地盤判定方法、地盤判定システム、および地盤判定プログラムを提供する。

【解決手段】 小規模建築物の敷地である対象地盤において、地盤補強工事の要否を判定するための地盤判定方法であって、盛土埋土抽出ステップと、沈下変形量解析ステップと、支持力度解析ステップと、総合判定ステップとを備え、造成からの経過年数が2年以下の新規盛土地盤では圧縮沈下と盛土荷重および建物荷重による圧密沈下とを考慮し、造成からの経過年数が2年超の新規盛土地盤では盛土荷重及び建物荷重による圧密沈下を考慮し、新規埋土地盤では圧縮沈下と建物荷重による圧密沈下を考慮し、その他の地盤では建物荷重による圧密沈下のみを考慮し、推定圧縮沈下量と推定圧密沈下量の和を推定沈下量と定義する。

【選択図】 図2

